

2003 年 5 月 9 日

派遣法・職業安定法改正案の審議始まる

与党議員も「派遣拡大は常用雇用代替促進の懸念の払拭必要」と質問

5 月 7 日、衆議院・厚生労働委員会において、労働者派遣法および職業安定法改正案の審議が始まりました。午前中に坂口厚生労働が提案理由を説明した後、医療問題に関する一般質疑をはさみ、夕方から自民、公明、保守新党の与党による審議を 1 時間行いました。

労働者派遣法の改正案に対しては、与党議員からも「製造業の派遣解禁や期間の延長は、常用雇用代替促進や解雇リスクの回避の抜け道に繋がるのではないか」などの懸念が表明され、十分な対応を求める意見が出されました。

連合は、この日、午前 10 時 30 分より国会前での座り込みを実施。構成組織・連合本部から 450 名が参加する中、衆参両院の野党議員が次々と激励の挨拶に訪れ、「派遣法・労基法の改悪を阻止し、抜本修正を実現できるよう全力で取り組みたい」と決意を表明しました。